



和敬会だより

第155号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和8年5月25日



受賞おめでとう
ございます！



医療法人社団和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院 Web サイト

和敬会だよりの
過去号も掲載し
ています。



谷野医院 web サイト

リニューアル
しました！
ご覧ください。



『IR整備とギャンブル等依存症対策』

理事長・院長 谷野 亮一郎

日本では、観光振興や地域経済の活性化を目的として、カジノを含む統合型リゾート、いわゆるIRの整備が進められています。IRとは、カジノ施設だけでなく、国際会議場、展示施設、ホテル、劇場、商業施設などを一体的に整備する複合観光施設です。現在、国に認定されている区域整備計画は大阪・夢洲地区の1か所であり、今後さらに新たな区域整備計画の申請受付も予定されています。

一方で、カジノ導入にあたっては、ギャンブル等依存症への懸念があります。日本では、IR整備法に基づくカジノ規制に加え、ギャンブル等依存症対策基本法により、国、地方公共団体、関係事業者、医療・福祉関係者等が連携して対策を進めることとされています。政府には基本計画の策定義務があり、都道府県には推進計画策定の努力義務が定められています。

IR・カジノ側の具体的な依存症対策として、次のような仕組みが提示されています。

- ・日本人等の入場は、連続する7日間で3回、28日間で10回までに制限されます。
- ・入場時にはマイナンバーカード等を用いて本人確認と入場回数の確認を行います。
- ・20歳未満の入場は禁止され、日本人等には1回6,000円の入場料が課されます。
- ・本人や家族の申出により、入場制限などの利用制限を行う制度があります。
- ・カジノ施設内のATM設置は禁止され、貸付にも厳格な制限があります。
- ・過度な広告・勧誘を防ぐ規制が設けられています。
- ・事業者には依存防止規程の作成、従業員教育、相談・治療機関への情報提供が求められます。

これらは依存症を完全に防ぐものではありませんが、過度な利用を抑え、早期に相談や治療につなげるための重要な仕組みです。精神科医療機関としては、IR利用だけでなく、既存のギャンブル、オンラインカジノ、多重債務、抑うつや自殺リスク、家族問題を含めて幅広く評価し、精神保健福祉センター、専門医療機関、自助グループ、司法・福祉機関等と連携しながら、地域における依存症支援体制の一翼を担うことが求められます。



瀬山看護部長 就任のご挨拶

令和8年4月より看護部長に就任した瀬山尚子です。富山県立中央病院、高志リハビリテーション病院、富山県済生会富山病院を経て現在に至ります。高度急性期、回復期等それぞれの地域で果たす機能を有した病院に勤務させていただき多くのことを学ばせていただきました。看護師経験39年間の中で、精神科経験は2年間だけでしたが、私にとっては、精神科看護の奥の深さ、そして人間の本質について考える機会となりました。精神科看護を経験したからこそ、もう一度精神科看護に携わりたいという思いがありました。

4月に着任し、患者さんが回復し地域で再び生活ができるよう様々なプログラムが生まれ多職種が一丸となり患者さんを支えている姿に感銘しました。患者さんにとって生きづらさから少しでも解放してあげられるよう、微力ながらスタッフと共に取り組んでまいりたいと思います。

また、病院周辺の景色のすばらしさにも感動し、目の前の呉羽山公園の満開の桜は圧巻でした。先日、呉羽山公園に孫と散歩に出かけ、孫は高い丘を上ったり下ったりと大はしゃぎでした。私も今後は体力作りのためにこの公園を活用しウオーキングしたいと思う今日この頃です。

皆様、よろしくお願い申し上げます。



こころの健康を考える講演会

令和8年3月7日(土)、当院の高山医師を講師に迎え、「地域で支えるこころの健康～精神疾患の理解と私たちにできること～」と題した講演会を開催いたしました。

本講演会は、地域に根ざした開かれた精神科医療を目指し、講演を通じて地域社会に貢献することを目的としています。講演会当日は近隣住民の方々や関係機関、当院職員合わせて40名を超える参加者が一堂に会しました。

今回の試みとして、単なる講演ではなくテーマごとに参加者が話し合うグループワーク形式を取り入れました。立場や状況が異なるからこそ生まれる多様な意見が飛び交い、非常に活発なディスカッションとなりました。



質疑応答では、当事者としての苦悩や、身近な人の不調サインの見極め方など、具体的かつ重要なテーマについて深く掘り下げることができ、大変有意義な時間となりました。今後も地域でのつながりを大切に、こころの健康について共に考える場を継続して提供していきたいと思います。

こころの健康を考える講演会 実行委員会

総曲輪デイケアセンター・デイケア祭

4月3日(金)4日(土)の2日間にわたり、デイケア祭を開催しました。

1日目は角谷院長による講演会があり、約40名が参加されました。今回は「自分の機嫌を良くするには」がテーマで、「気分が安定していると集中しやすく、周囲にも良い影響があり、色々なことに振りまわされにくくなる」「時には自分の内面や体調に目を向けることが大切」と話されました。

2日目の本祭には今年も多数のメニューが出そろいました。リワークメンバーこだわりのトッピングを乗せたうどんが豪華で美味しかったです。また、たこ焼きやフランクフルトの香ばしく焼けた良い香りに引き寄せられました。ドリンクや枝豆系の皆さんも、笑顔で対応され輝いていました。



バザーコーナーでは昨年以上に沢山の商品が出そろい、洋服や高価な商品も多数格安で販売していたので、良い物は早々に売り切れていたようです。また、レジン・革細工・手芸作品も充実していました。

ゲームコーナーは「3本の矢」や「金メダルを探せ」「ダーツ」「ゲートボール」など多種多様なゲームがあり、係の皆さんに楽しく盛り上げて頂きました。

午後のステージショーではメンバーによるDa-iCEの曲に合わせたダンスや、アカペラ、手品の発表がありました。受付係の皆さんが企画したカラオケコーナー也大盛況でした。

最後に、ご来場の方々に深い感謝を申し上げます。デイケアメンバーの皆さん本当にお疲れ様でした。



やすらぎホール作品展示会

令和8年3月2日から3月6日にかけて「やすらぎホール展示会」を開催しました。塗り絵、手芸、習字、絵画など全作品数111点、出展者84名の渾身の力作はどれもオリジナリティにあふれ、見応えのある展示会となりました。

来場者アンケートにおいては132件あり、「気持ちのこもった作品でとても感動した」「元気づけられた」「見ていて楽しかった」「投票に迷うほどどれも力作だった」「毎回楽しみにしている」など、とても好意的な言葉が数多く寄せられました。



投票の結果、理事長賞3名、優秀賞10名、入賞者10名選出され、賞状と記念品が授与されました。今後も、たくさんの作品が展示できるよう患者さんやスタッフと協力し、感動と元気を与えられるような展示会を開催できればと思います。

第15回やすらぎホール作品展示会 実行委員会

健康経営優良法人2026認定更新

3月9日、健康経営優良法人2026の認定企業が発表され、和敬会も2年連続で大企業部門の認定を受けました。



全国で3,765法人、富山県では31法人が認定されています。

今後も働きやすい職場づくりを進めていきたいと思ひます。

新職員歓迎会を開催しました

昨年から今年4月までの新職員15名が部署の先輩から紹介され、一言ずつ挨拶し会場を和ませました。職員同士、貴重な交流の場となり、結束も深まりました。



和敬会職員互助会

法人の動き

月	日	事項
2	2	生活保護法による指定医療機関個別指導
2	5	衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査 不在者投票
2	20	日本精神科病院協会広報委員会 移動委員会
3	2～6	やすらぎホール作品展示会
3	7	第23回こころの健康を考える講演会
3	11	職員総会
3	11	健康経営優良法人認定更新
3	27	防火訓練
3	30	法人理事会
4	1	臨時職員総会
4	3・4	総曲輪デイケア祭
4	10	新職員歓迎会

紙面に掲載されている患者さんの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記



病院前の呉羽山公園より。今年も桜がきれいでした。(志)